

まちの話題

明石市との交流事業「養父市から雪のプレゼント」

昨年の12月5日・6日、養父市から明石市への「雪のプレゼント」事業が行われました。

この事業は明石市との交流事業の一つとして、平成17年から続いているもので、今年で6回目となります。

鉢伏開発観光(株)から提供された31トンの人口雪を、養父市商工会青年部の皆さんが運びました。

5日には、大型ショッピングセンターの一角に雪遊びコーナーを設置。今年も雪の到着を待ちわびていた子どもたちが、心ゆくまで雪遊びを楽しんでいました。

スキーシーズンの安全祈り冬山開き

昨年の12月3日、氷ノ山、ハチ高原、東鉢伏の冬山開きが、ハチ高原スキー場で行われました。

冬山開きには、市や観光協会の関係者ら約70人が出席。神事に続きテープカットとくす玉割りを行い、冬山シーズンの到来を祝いました。

スキー客を迎える準備の整った人口雪を使ったクリスタルコースでは、一足早くイメージキャラクター「やっぴー」が初滑りを披露し、関係者をわかせました。



くす玉割りで冬山シーズン到来を祝う関係者ら

ハチ高原などの冬山の観光客は暖冬などの影響を年々減っていますが、やぶ市観光協会の一ノ本茂水ノ山鉢伏支部長は「猛暑の次のシーズンは大雪になると聞きます。今シーズンは地元の人に来てもらうことで、すそ野を広げ、冬山の観光客20万人を目指したい」と話していました。



雪遊びコーナーで雪遊びを楽しむ子どもたち

また、翌6日には、明石市立朝霧幼稚園と私立浄行寺愛児園に雪が届けられました。

普段触ることのない雪に園児たち大はしゃぎ。雪は青年部の皆さんにより滑り台に形を変え、スリル満点のソリ滑りにも果敢に挑戦していました。

やぶB級グルメは「おにぎり」に決定!!

地元の食材を使った新しい料理「やぶB級グルメ」が、昨年の12月2日に決定しました。

優秀作品は、藤原まり子さん(上箇)の考案した「M 00 ノ山(も～のせん) & B 00 ノ山(ぶ～のせん)」と名付けたおにぎりに決まりました。

ピーマンと朝倉サンショウの佃煮を混ぜたご飯のおにぎり、名前の由来となった薄切り牛肉と豚肉を巻き付けて焼くものです。

市内の特産品を使っており、味の個性を出しやすいレシピであることが評価されました。

今後、料理を提供する飲食店の募集を行い、今年の春の行楽シーズンに一斉に販売スタートの予定です。



優秀作に選ばれたおにぎり藤原さん